

令和 6 年度

教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書
(令和 5 年度対象)

令和 6 年 8 月

杉戸町教育委員会

目 次

I 経 緯	1
II 教育委員会活動状況	2
III 点検・評価の対象とした施策・事業	6
IV 点検評価の結果	7
確かな学力と自立する力の育成	7
豊かな心と健やかな体の育成	11
家庭・地域と一体となった教育の推進	13
小・中学校の施設・設備の充実	14
学校図書館の充実	16
自ら学べる環境の充実(生涯学習センター・図書館)	18
自ら学べる環境の充実(公民館)	20
多様なスポーツ活動の普及促進	22
青少年の健全育成	24
まちの歴史・文化の保存と活用	25

【経 緯】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされました。

そこで、杉戸町教育委員会では、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに令和5年度の「事務事業評価」を実施し報告書にまとめました。

【点検・評価の対象年度】

令和5年度

【点検評価の項目】

町政運営の基本となる「第6次杉戸町総合振興計画基本構想・前期基本計画（令和3年度～7年度）」及び「令和5年度教育行政重点施策」に掲げられている施策・事業を対象に点検評価を実施しました。

【点検・評価の方法】

各事業について自己評価を行い、学識経験を有する方から評価・意見をいただきました。

堀井 仁（玉川大学客員教授（前杉戸町立西小学校長））

《教育委員会活動状況》

1 組織体制

教育委員等	教育長 1 人、教育長職務代理者 1 人、委員 3 人
事務局組織	教育次長、教育総務課、学校教育課、社会教育課、 小学校、中学校、幼稚園 学校給食センター、町立図書館、生涯学習センター、公民館、 教育相談所、エコ・スポいずみ（正規職員 53 人）

2 教育委員の活動概要

毎月 1 回の定例会や臨時会を開催しました。

定例・臨時・協議会		議案件数	報告件数	協議件数	その他
定例会	12 回	23 件	45 件	0 件	11 件
臨時会	2 回				

教育委員会審議案件（R5 年 4 月～R6 年 3 月）

会議	審議 年月日	議案 番号	件名
第 5 回	R5. 4. 13	13	杉戸町文化財保護審議会委員の委嘱について
第 6 回	R5. 5. 18	14	学校給食費の段階的な無料化にかかる審議会からの答申について
		15	杉戸町下本村集会所運営審議会委員の委嘱について
第 7 回	R5. 6. 15	—	—
第 8 回	R5. 7. 20	16	令和 6 年度使用小学校用教科用図書の採択について
		17	【非公開】令和 5 年度杉戸町教職員人事異動に係る内申について （令和 5 年 8 月 1 日付）
第 9 回 臨時会	R5. 7. 31	18	令和 6 年度使用小学校用教科用図書の採択について
第 10 回	R5. 8. 17	19	杉戸町立図書館協議会委員の任命について
		20	杉戸町生涯学習審議会委員の委嘱について
		21	【非公開】令和 5 年度杉戸町教育委員会人事異動に係る内申について （令和 5 年 8 月 1 日付）
第 11 回	R5. 9. 201	—	—
第 12 回	R5. 10. 19	—	—
第 13 回	R5. 11. 16	22	令和 5 年度杉戸町入学準備金貸付審査会委員の委嘱について
第 14 回	R5. 12. 19	23	南公民館展示室の一般利用について
		24	カルスタすぎとの運営方法について
第 1 回	R6. 1. 25	1	令和 5 年度新校設立準備委員会での協議結果について
第 2 回	R6. 2. 15	2	令和 6 年度杉戸町教育行政重点施策について
		3	令和 6 年度当初予算見積書最終査定結果について
		4	各施設の使用料減免及び還付方法の取扱い変更について

第 3 回 臨時会	R6. 2. 22	5	【非公開】令和 6 年度当初杉戸町立各小・中学校管理職人事異動に係る内申について
		6	【非公開】令和 6 年度当初杉戸町立各小・中学校教職員人事異動に係る内申について
第 4 回	R6. 3. 14	7	杉戸町立庄・中学校職員服務規程の全部改正について
		8	杉戸町立図書館条例施行規則の一部改正について
		9	杉戸町立幼稚園預かり保育に関する規則の一部改正について
		10	令和 6 年度杉戸町さわやか相談員の委嘱について
		11	【非公開】杉戸町教育委員会事務局職員の人事異動について

教育委員会報告案件

議案番号は暦年のため重複表示となります

会議	年月日	報告 番号	件 名
第 5 回	R5. 4. 13	11	令和 5 年度教育委員会事務局及び教育機関組織について
		12	令和 5 年度杉戸町立幼稚園・小・中学校 幼児・児童生徒数及び学級数、教職員数について
		13	令和 5 年度杉戸町立小・中学校における主幹教諭設置校について
		14	令和 5 年度杉戸町立小・中学校司書教諭の任命について
第 6 回	R5. 5. 18	15	令和 5 年度杉戸町幼稚園・小・中学校 幼児・児童生徒数及び学級数、教職員数について
		16	令和 5 年度杉戸町立小・中学校指導員の委嘱について
		17	令和 5 年度杉戸町教育委員会学校教育課所管各種委員会委員について
		18	令和 5 年度杉戸町語学及び文化アドバイザー（S L C A）について
		19	令和 5 年度杉戸町立小・中学校図書館支援員の委嘱について
第 7 回	R5. 6. 15	20	令和 5 年 6 月議会一般質問について
		21	令和 5 年度一般会計補正予算（第 3 号）について
		22	令和 5 年度杉戸町立小・中学校学校運営協議会委員名簿について
		23	【非公開】令和 6 年度埼玉県公立小・中学校校長・教頭候補者選考志願者について
第 8 回	R5. 7. 20	24	令和 5 年度杉戸町要保護及び準要保護児童・生徒の認定について
		25	令和 6 年度町立幼稚園園児募集について
第 9 回 臨時会	R5. 7. 31	—	—
第 10 回	R5. 8. 17	26	令和 6 年度使用小学校用教科用図書の採択について
第 11 回	R5. 9. 21	27	令和 5 年 9 月議会一般質問について
		28	令和 5 年度一般会計補正予算（第 4 号）について
		29	令和 6 年度当初教職員人事異動の方針について
第 12 回	R5. 10. 19	30	令和 5 年度全国学力・学習状況調査結果について

		31	令和5年度埼玉県学力・学習状況調査結果について
		32	令和5年度杉戸町リーディングスキルテスト結果について
第13回	R5.11.16	—	—
第14回	R5.12.19	33	令和5年12月議会一般質問について
		34	令和5年度杉戸町一般会計補正予算（第5号）について
		35	令和5年度杉戸町一般会計補正予算（第6号）について
		36	令和5年度町立幼稚園満3歳時保育入園状況
		37	令和6年度杉戸町立幼稚園新入園児受付状況及び学級編成について
		38	【非公開】令和6年度埼玉県公立小・中学校等校長・教頭候補者選考の結果について
第1回	R6.1.25	1	令和5年度杉戸町立小・中学校卒業証書授与式の告辞について
		2	令和5年度杉戸町立幼稚園修了証書授与式の告辞について
		3	令和6年杉戸町立小・中学校入学式の告辞について
		4	令和6年度杉戸町立幼稚園入園式の告辞について
		5	令和6年杉戸町二十歳の集いの出席状況について
		6	南公民館展示室の一般利用の開始時期について
		7	杉戸町立幼稚園職員服務規程の一部を改正する訓令について
		8	西幼稚園創立50周年記念式典について
第2回	R6.2.15	9	令和6・7年度学校医等の委嘱について
		10	令和6・7年度町立幼稚園医等の委嘱について
		11	令和6年度杉戸町立幼稚園新入園児受付状況及び学級編成について
第3回 臨時会	R6.2.22	—	—
第4回	R6.3.14	12	令和6年3月議会一般質問について
		13	令和5年度一般会計補正予算（第8号）について
		14	工事請負契約の締結について（杉戸町立広島中学校校舎等改修（第Ⅱ期）
		15	令和5年度杉戸町立小・中学校教職員人事評価の結果について
		16	令和6年度杉戸町立小・中学校新採用及び転入教職員着任式について
		17	カルスタすぎとの運営について

教育委員会協議案件

会議	年月日	件 名
—	—	—

教育委員会その他案件

会議	年月日	件 名
第 8 回	R5. 7. 20	令和 5 年度教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書（令和 3 年度）について（素案）
第 11 回	R5. 9. 21	杉戸町スポーツフェスティバル 2 0 2 3 について
第 12 回	R5. 10. 19	杉戸町スポーツフェスティバル 2 0 2 3 について
第 13 回	R5. 11. 16	第 4 0 回公民館文化祭の開催について
		令和 5 年度杉戸町県展等入選作品展について
		「令和 5 年杉戸町二十歳の集い」への出席について
		「第 4 0 回杉戸町新春マラソン大会」開催について
第 14 回	R5. 12. 19	令和 5 年度杉戸町立小・中学校の卒業式について
		令和 5 年度杉戸町立幼稚園卒園式について
		第 4 0 回新春マラソン大会開催について
第 1 回	R5. 3. 22	令和 6 年度杉戸町立小・中学校、幼稚園の入学（園）式の日程について

教育委員の主な関係行事等への出席

期日	主な行事等
4 月 3 日	着任式
4 月 10 日	小・中学校入学式
4 月 11 日	幼稚園入園式
1 月 7 日	二十歳の集い
3 月 15 日	中学校卒業式
3 月 19 日	幼稚園卒園式
3 月 22 日	小学校卒業式

点検・評価の対象とした施策・事業

- ① 確かな学力と自立する力の育成（学校教育課）
「学力向上プロジェクト・特色ある学校づくり
プロジェクト」
- ② 豊かな心と健やかな体の育成（学校教育課）
- ③ 家庭・地域と一体となった教育の推進（子育て支援課）
「世代間交流の実施」
- ④ 小・中学校の施設・整備の充実（教育総務課）
- ⑤ 学校図書館の充実（教育総務課・学校教育課）
- ⑥ 自ら学べる環境の充実（社会教育課）
「生涯学習事業の推進（生涯学習センター・図書館）」
- ⑦ 自ら学べる環境の充実（社会教育課）
「生涯学習事業の推進（公民館）」
- ⑧ 多様なスポーツ活動の普及促進（社会教育課）
- ⑨ 青少年の健全育成（社会教育課）
- ⑩ まちの歴史・文化の保存と活用（社会教育課）

点検評価の結果

施策：①確かな学力と自立する力の育成
「学力向上プロジェクト・特色ある学校づくりプロジェクト」

各学校が日々の授業の充実と特色ある教育活動（学力向上プロジェクトと特色ある学校づくりプロジェクトを核とする）を展開する中で、子どもたち一人一人の学びを充実させ、未来を生き抜く力を育みます。

令和5年度の主な取組

（１）学力向上プロジェクト

○各校での５つの共通実践

- ・学級づくり、教室づくり
- ・基礎力・学習スキルの育成
「情報活用能力の育成」を追加し、情報の取捨選択や情報モラルに関する能力の育成を目指した。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
(杉戸町授業スタンダードの活用)
- ・家庭学習の推進
- ・非認知能力（好奇心、自制心、意欲、自尊心等）の育成

○若手教員の授業力向上に向けた「学習指導アドバイザー」の新規配置

○児童生徒の実態把握及び、日々の授業改善へ向けた各種学力テスト等の実施

- ・読解力向上ワークシート（小学校５・６年生対象）の実施
- ・総合学力調査（小学校１年生から中学校２年生まで）の実施

○学力向上プロジェクト推進委員会

- ・各小・中学校の学力向上推進者による学び合い（年３回）

○学力向上プロジェクト訪問（東ブロック５校）

- ・全教員の授業公開
- ・授業構想力・授業実践力の向上

○学力向上プロジェクト公開授業研究会（西ブロック４校）

- ・町内全教員による研究協議会
- ・子供の学びを見取る力と研究協議を深める力の向上

（２）特色ある学校づくりプロジェクト

○特色ある教育活動推進のための学校支援

- ・カリキュラム・マネジメントによる創意工夫を生かした教育課程の編成・実施・評価
- ・「学校自慢」となる特色ある教育活動の推進

施策の評価

①確かな学力と自立する力の育成

「学力向上プロジェクト・特色ある学校づくりプロジェクト」

新型コロナウイルス感染症が５類感染症に位置付けられたことを踏まえ、杉戸町の児童・生徒の現状から令和5年度の最重要課題として次の３点が示されている。

①児童・生徒一人一人の資質・能力の向上

②全ての児童・生徒が安心して学べる学校づくり

③コロナ後の児童・生徒の体力向上及び健康維持増進

特に①に関しては

○若手教員の授業力向上に向けた「学習指導アドバイザー」の新規配置

○児童生徒の実態把握及び、日々の授業改善へ向けた各種学力テスト等の実施

- ・読解力向上ワークシート（小学校５・６年生対象）の実施
- ・総合学力調査（小学校１年生から中学校２年生まで）の実施

といった取組が大いに評価できる。

一昔前、新採用等の若手教員は、経験豊富な先輩（いわゆるベテラン）教員から日々の実践の中で知識・技能を伝承してもらうことで資質能力の向上を図ってきたという側面が強かった。その後、教員の退職の影響により、かつてのような先輩から若手への知識・技能の伝承が必ずしも図られていない状況もある。

このような状況への対策としての「学習指導アドバイザー」の配置と考えられる。これにより、学ぶ意欲にあふれ、子供に慕われ、保護者に敬われ、地域に信頼される杉戸町の教員の更なる飛躍が図られると確信している。

2018年度から始まった「杉戸町学力向上プロジェクト」も第二期がスタートした。目標は「全ての学校・全ての教室において、『全ての子供を自立した学習者へと育て上げるために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する』こと」である。

教育委員会日より「杉の子」にも記載されているように重要なことは、杉戸町全ての教員がこの目標を共有することである。昨年度、西小学校の「公開授業研究会」の授業と研究協議に参加させていただいた。授業後には児童の名前を示しながら「自立した学習者」を育成し、一人一人の資質・能力を最大限伸ばすにはという視点からの熱心な協議が行われていた。

これは私が見た一側面ではあるが、杉戸町の教員一人一人が「目標を共有しよう・自分事としてとらえよう」と意識していることを垣間見ることのできた貴重な時間であった。今後の杉戸町の児童・生徒と共に教員の成長を期待したい。

杉戸町学力向上プロジェクトについて(第1期) 2018年4月～2023年3月

1 実施に至る背景

◎2017年(平成29年3月) 小・中学校新学習指導要領告示

○加速度的に社会が変化する今、2030年の未来を見据え、予測不可能な社会に生きる子供たちに、
激動の時代を豊かに生き、未来を切り開く力を身に付けさせる。

○新しい学習指導要領に込められた願いは…

「学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。
これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、判断し行動し、
それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。……」

◎杉戸町の状況

児童・生徒

- ・基礎的な学力は、概ね身についているが、かなりの学力差もあり、全体として、国や県の学力調査において、県の平均を上回る状況には至っていない。
- ・思考力について、根拠をもって推論したり説明したりが十分とは言えない。
- ・学んでいても、その楽しさを実感したり、将来に生かせると思ったりしている児童・生徒が少ない。
- ・自己肯定感の低い児童・生徒がやや多い。

学校・教師

- ・学校により、学力の差や、研修推進の差が見られる。
- ・チョークとトークに頼り、説明型の授業が多く見られる。
- ・学習指導要領改訂の理解不足



2 学力向上プロジェクトの取組(詳しくは、「学力向上プロジェクトリーフレット」参照)

目的

- ・児童・生徒の学力(新学習指導要領に示された資質・能力)の向上
- ・教師の「授業構想力」「授業実践力」「子供の学びを見取る力」「研究協議を深める力」の向上
- ・学校間の取組の差を無くす

方策

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った日々の授業改善により質の高い学びを実現する「授業改革」を中心に、**5つの共通実践**で「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を育む

※5つの共通実践

①学級づくり・教室づくり ②基礎力・学習スキルの育成 ③授業改革 ④家庭学習 ⑤非認知能力の育成

- ・校種・教科に関係なく、授業を通して「子供の学び」について考え、意見を交流し、明日の授業改善に生かす機会を設ける。(学力向上プロジェクト公開授業研究会)
- ・教育委員会が学校を訪問し、当該学校の教師と共に、授業を通して「子供の学び」について学び合う。(学力向上プロジェクト訪問)

3 効果の検証方法

- ・子供たちの学びの姿の変容 ・日々の授業の変容 ・校内研修の変容
- ・学力・学習状況調査(国・県)
- ・総合学力調査(ベネッセ)
- ・リーディングスキルテスト
- ・児童・生徒 ICT 活用状況調査 等

杉戸町学力向上プロジェクトについて(第2期) 2023年4月～

I 第1期実践(2018年4月～2023年3月)の振り返り

成果

- ・各種標準テストにおける正答率の向上
- ・学校間格差が縮まる(全ての学校が伸びている)
- ・「杉戸町授業スタンダード」をベースとして「主体的・対話的で深い学び」を実践しようとする教員が増えている
- ・校内研修の意識の転換が図られ、研究協議を通して、子供の姿から「子供の学びを見取る力」が向上している

課題

- ・各種標準テストにおいて全体として、正答率が伸びているが、児童・生徒一人一人には、まだ伸ばし切れていない面もある
- ・教師が教える授業から子供が学ぶ授業への転換について、本質(何のために、どのように)が理解されていないことも多く、日々の授業の大きな改革には至っていない
- ・授業過程が形式化し、質的な掘り下げについて課題が残されている
- ・校内研修に「町学力向上プロジェクト」の方向性が、組み込まれていない学校もある

2 令和の日本型学校教育(2021年1月 中央教育審議会答申)

◎5つのポイント…(内外教育「令和の日本型学校教育」上智大学教授 奈須正裕 より)

- ①全ての子供たちに一定水準の、しかも広範囲にわたる全人的な教育を提供している。これについては、さらに発展的に継承していくことが望まれる。
- ②その一方で従来の「日本型学校教育」は、正解主義や同調圧力といった問題を抱えており、子供の学習者としての自立も阻んできた。既に経済社会は「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりにできる」人材など求めてはいない。
- ③「社会に開かれた教育課程」の理念に立って、今後の学校が目指すべき姿、つまり「令和の日本型学校教育」の実現に当たっては、まず、全ての子供を自立した学習者へと育て上げることが大切であり、子供がICTも活用しながら自ら学習を調整し、学び続けられるようにするには、個別最適な学びが不可欠である。
- ④協働的な学びの一層の充実も併せて望まれるが、その際、集団の中で個が埋没しないよう、異なる考えが組み合わさり、よりよい学びが生み出される学びとすることが大切である。
- ⑤「個別最適な学び」と「協働的な学び」を「主体的・対話的で深い学び」で実現されるよう、相補的で相互促進的な関係を保ちながら一体的に充実させていくことが「令和の日本型学校教育」の中心的な課題となる。

3 2023年度からの取組【2022年に資料をもとに浸透を図った「令和の日本型学校教育」の一層の推進】

◎「未来の創り手となるために必要な資質・能力」の再確認

◎授業改革のブラッシュアップ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った日々の授業改善により質の高い学びを実現する。

一体的な充実:「1単位時間の中で」「単元計画の中で」「年間指導計画の中で」 一体的な充実を図る

◎自立した学習者を育てるための視点に立った「5つの共通実践」文言修正

◎授業改革のブラッシュアップに沿った指導案の改善

- ・単元について③授業改善のアプローチ(『個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実』の視点から)
- ・本時の学習活動③に期待される児童生徒の振り返りを追加

◎◇「教師が教え込む」授業から「子どもが主体的に学ぶ授業」への転換

◇「教師主導」の授業から「子ども主体の授業」への転換

教師は 授業デザイナーであり
授業コーディネーターであり
ファシリテーターである。
～知識の伝達者からの脱却～

点検評価の結果

施策：②豊かな心と健やかな体の育成

児童生徒一人一人の心に寄り添ったきめ細やかな学校教育の実施や、児童生徒が体を動かすことの楽しさや喜びを感じ、よりよい生活を送ることを目的とした、日々の体育授業の充実により、豊かな心と健やかな体の育成を目指します。

令和5年度の主な取組

○校内少人数支援室の新規設置

・不登校などの子供の困り感に寄り添い、きめ細やかな対応を行うため、校内少人数支援室をモデルケースとして、杉戸第二小学校へ設置しました。

○新体力テストの実施について

・新体力テストは、文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料を得ることを目的に、町内各小・中学校で毎年実施している調査です。

○児童生徒の体力の現状と課題の把握

・杉戸町体力向上・健康増進推進委員会の中で、各校の結果を基に杉戸町の児童生徒の体力の現状と課題を把握しました。全国、県の平均値と比較することで、分析を深めることができました。

○楽しい体育授業の実践について

・技能のみを追い求める授業ではなく、児童生徒が主体的に授業に参加するような体育授業の実践についても話し合いをすることができました。主体的に授業に参加することが体力向上につながるということを再確認しました。

○各校の実践（成果・課題）等の発表

・杉戸町体力向上・健康増進推進委員会を年2回行い、2回目（2月）の推進委員会で各校の実践発表を行い、次年度の課題を洗い出しました。

施策・事業の評価

②豊かな心と健やかな体の育成

令和5年度から施策の「体力向上推進事業」が削除されている。そして、「児童生徒一人一人の心に寄り添ったきめ細やかな学校教育の実施により」という文言が加わった。

具体的な事業として、杉戸第二小学校に校内少人数支援室「ほっとルーム」が新規に設置された。教室に入りたくても入れない子供、周囲を気にせず静かに落ち着く場所が必要な子供、自分にとって分かる部分から学び直したい子供等、困り感は子供の数だけ存在する。そうした子供に「寄り添う」ために、2名の指導員を常駐させ、子供の相談に対応したり、一緒に学習したり、そばで見守ったりしている。この取組は個々の教育的ニーズに応じた支援を連続的・継続的に行うことが可能になると思われる。支援する大人が子供の困り感を感じながら成長を見守ったり、必要に応じて的確な支援を行ったりできれば、子供の困り感もやがて達成感に変わっていくと考える。

今後杉戸第二小のモデルケースの成果と課題を各学校で共有し、杉戸町の子供の対人コミュニケーション能力や社会性の向上にもつなげてほしい。

体力向上については楽しい体育授業の実践についての話し合いを行い、「主体的に授業に参加することが体力向上につながる」ことの再確認をしたことは意義のあることだと考える。日々の体育の授業において「できた」という達成感や「練習すれば自分でもできる」という自信を感じることができる指導を継続していただきたい。

点検評価の結果

施策：③家庭・地域と一体となった教育の推進 「世代間交流の実施」

少子化、情報化が進む中、幼児の豊かな心を育むために、家庭や地域と連携協力して異年齢児や、高齢者をはじめとする幅広い世代と交流するなど、身近な資源を活用しながら豊かな生活体験を得られるよう機会を設けている。

令和5年度の主な取組

○家庭との連携

- ・PTA清掃活動：年5回の除草作業には年長児も参加し、お家の方に園庭がきれいになったことを感謝の言葉で伝えました。
- ・親子美化活動：年長親子を対象に遊歩道の清掃による奉仕活動を実施しました。
- ・「アグリパークゆめすぎと」における収穫体験（食育活動）：農園の方の話を聞き、保護者ボランティアと共に収穫体験を通して、農作物へ関心を広げました。
- ・誕生会への参加：年長の誕生児の保護者から、出生時の様子や名前の由来等を聞き、一人ひとりが大切な存在であり、命の尊さを学ぶことができました。

○地域との交流

- ・保育園児との交流：地域の仲間を知り、互いの園を行き来し、相互交流を図りました。
- ・地域の方との田植え体験：地域の方に稲苗をもらい、園で稲を育てました。収穫期には、田んぼでトラクターでの稲刈りの様子を見学し、後日、園児が収穫したお米に地域の方が収穫したお米を加えて、園児が自分でおにぎりを握り協力いただいた方と会食して、感謝の気持ちを伝えました。
- ・郵便局見学：杉戸郵便局に敬老の日に併せて、園児が自分の祖父母にハガキを作成し投函しに行きました。その際、ビデオ視聴をさせてもらい郵便局の仕事について学びました。
- ・祖父母及び地域の方との交流：伝承遊びを教わる機会を設け、触れ合いながら楽しいひとときを過ごしました。
- ・保護者及び地域ボランティアによる絵本の読み聞かせを通して様々な人と触れ合いました。

※コロナ禍前の保育にとらわれず対外行事を計画して、道徳的価値観を養う教育や、命の尊さを学ぶ教育、更には、自ら考える力を養う教育等、心や人間力を涵養するような教育・保育に努めました。

施策・事業の評価

③家庭・地域と一体となった教育の推進 「世代間交流の実施」

杉戸町のまちづくりの基本理念は「みんなで考え、行動することで、よりよい『すぎと』をつくる」である。幼児が、家庭だけでなく地域の幅広い世代と交流することは、幼児の豊かな心を養うだけにとどまらず、杉戸町にかかわる人自体の成長にもつながる。その観点からも、家庭と地域の教育力向上、世代間交流などこれからの時代に欠かすことのできない重要な取組が行われている。

特に、さまざまな世代や業種の人々と交流することは、幼児にとって家族等限定された人間関係を拡大するだけではなく、高齢者や地域の人々への理解も深まる。子供たちは高齢者から知識や経験を教わり、郵便局員から郵便局が私たちの生活を支えていることを学ぶ。そして、家族や学校だけに限定されていた人間関係が広がり、感謝の心や思いやりなどの人間性も育まれる。

世代間交流は子供だけでなく、その交流の相手となった人々特に高齢者にとっても孤立を防ぎ、心の健康にも良い効果があるのではないだろうか。今後も相互に生きる交流を目指す必要がある。

点検評価の結果

施策：④小・中学校の施設・設備の充実

学校施設は、子ども達にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であると共に、生涯にわたる学習、文化活動、スポーツ活動の場でもあり、災害時には指定避難場所として地域の防災拠点となるなど、非常に重要な多くの役割を担っています。施設整備についてのニーズも近年多様であり、校舎の老朽化への対応やICT教育に対応できる設備の整備等が求められています。

そうしたことから、可能な限り既存施設を生かした施設整備を進めることで、安心安全な環境づくりに努めると共に、情報機器等の整備を図ることで、充実した学習環境づくりに努めます。

令和5年度の主な取組

- ・ 杉戸町立西小学校高圧ケーブル等改修工事
- ・ 杉戸小学校内築山撤去工事
- ・ 杉戸町立杉戸第三小学校体育館会議室空調機改修工事
- ・ 杉戸町立杉戸中学校駐輪場改修工事
- ・ 杉戸町立広島中学校校舎等改修（第Ⅰ期）工事（建築）
- ・ 杉戸町立広島中学校校舎等改修（第Ⅰ期）工事（機械設備）
- ・ 杉戸町立広島中学校校舎等改修（第Ⅰ期）工事（電気設備）
- ・ 杉戸町立広島中学校管理教室棟等カーテン購入
- ・ 理科教育等教材備品の購入（小中計1,295,800円）

施策・事業の評価

④小・中学校の施設・設備の充実

昨年度の評価で「今後、学校統合を見据えた校舎の大規模改修計画も設定されると思われる。引き続き町長部局との連携により計画が着実に進んでいるかを把握し、児童生徒・教職員に安全で快適な学校環境を提供していただきたい」と述べた。

令和7年4月の広島中学校と東中学校との統合に伴う杉戸南中開校に向け、広島中学校の大規模改修工事が着々と進んでいる。

「令和の日本型学校教育」の構築に向けては、ICT環境整備の在り方も重要な視点の一つである。それを考えた時、複数の児童・生徒が集まって電子情報や印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」（ラーニング・コモンズ）の設置も考えられる。

これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで、様々な課題を解決し教育の質の向上につなげていくことが必要となる。校舎等改修により杉戸南中学校が杉戸町における「知識の創出」の拠点となることを期待している。

参考：施設・設備の活用状況

○教室等の有効活用状況

杉戸小学校	放課後児童クラブ 3 室
杉戸第三小学校	放課後子供教室 1 室（コロナ禍により中止）
西小学校	放課後児童クラブ 1 室
杉戸第二小学校	放課後児童クラブ 3 室、町史編纂・防災倉庫 1 室、 放課後子供教室 1 室
泉小学校	放課後児童クラブ 2 室
高野台小学校	放課後児童クラブ 2 室
杉戸中学校	—
東中学校	—
広島中学校	—

○施設の有効活用状況 (件)

学校名	屋外体育施設開放	屋内体育施設開放
杉戸小学校	138	498
杉戸第三小学校	225	396
西小学校	267	478
杉戸第二小学校	242	259
泉小学校	97	452
高野台小学校	202	390
杉戸中学校	0	811
東中学校	229	0
広島中学校	110	321

点検評価の結果

施策：⑤学校図書館の充実

児童・生徒の読書離れが懸念される中、学校図書館の充実を図り、図書とのふれあいや図書に興味を持たせる機会を増やし、学習意欲の向上や多くの知識習得につながるよう蔵書数の充実を図ります。

令和5年度の主な取組

- ・ 学校図書館の図書を3,252冊整備しました。
- ・ 充足率が低くなっている学校には、学校図書館図書を充実させるため、特別配当予算を増額しました。
- ・ 学校図書館支援員を各校に配置し、延べ865回の活動により、図書館の整備や貸出業務、本や資料の紹介等を行いました。

施策・事業の評価

⑤学校図書館の充実

学校図書館は「読書センター」「学習センター」「情報センター」として3つの機能を発揮することで、児童・生徒が心身共に安心して過ごせる心の居場所とならなければならない。また、授業に関連した資料提供は、学校図書館による教員支援において重要な位置を占める。そのように考えた時、杉戸町の学校図書館は、十分な資料構成・資料規模と人の配置がなされている。

特に、司書教諭と学校図書館支援員等が、それぞれに求められる役割・職務に基づき、連携・協力を密にしつつ、協働して学校図書館の運営に当たることが必要である。特に効果をあげている学校図書館支援員の取組を共有することも有効な手立ての一つと言える。

課題の一つとして、昨年度「図書館資料の廃棄と更新が適切に行われるよう、各学校等において、明文化された廃棄の基準を定めるとともに、基準に沿った廃棄・更新を組織的・計画的に行うようにしていただきたい」と述べた。

杉戸南中（仮称）の開校を控え、廃棄と更新を進めるにあたって、東中・広島中各々に関する資料が失われないようにすることが重要である。必要であれば、町図書館に移管することも考えられるのではないかな。

参考: 施策指標の達成状況

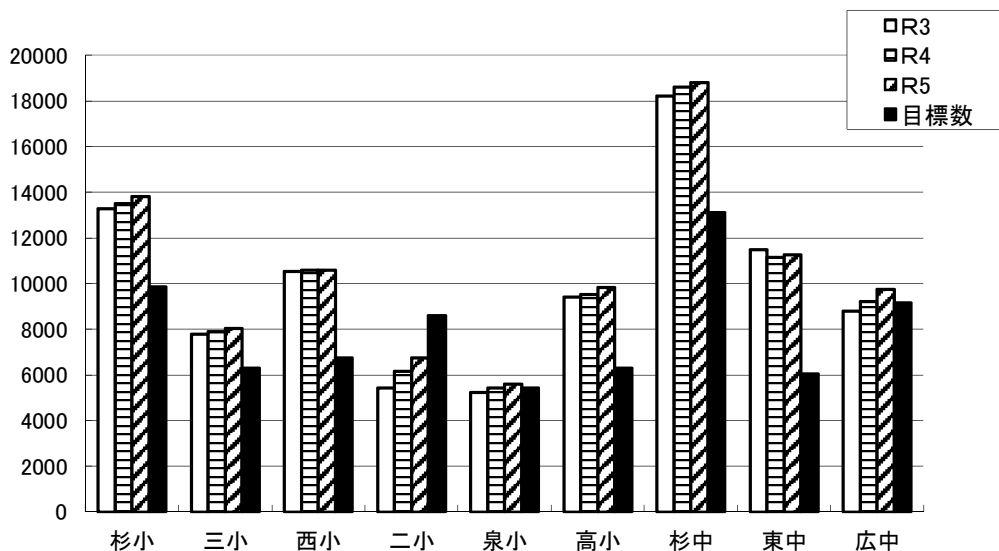
蔵書目標冊数	R5年度目標 冊数	R5年度末 蔵書数	目標数との 差	充足率
	72,648 冊	95,416 冊	22,768 冊	131.3 %

内 訳	図書標準 (R5年度)	目標蔵書数 (90%)	R5年度末 冊 数	充足率
杉戸小学校	11,160 冊	10,044 冊	14,084 冊	140.2 %
杉戸第三小学校	7,480	6,732	8,284	123.1
西小学校	7,960	7,164	10,588	147.8
杉戸第二小学校	9,160	8,244	7,353	89.2
泉小学校	6,040	5,436	5,967	109.8
高野台小学校	7,480	6,732	9,977	148.2
杉戸中学校	14,560	13,104	18,332	139.9
東中学校	6,720	6,048	10,782	178.3
広島中学校	10,160	9,144	10,049	109.9
計	80,720	72,648	95,416	131.3

※学校図書館図書の整備計画は、R4～R8年度までの5ヵ年を新たな整備期間として「学校図書館図書標準」の90%以上の図書整備の充実を目指します。

学校別整備状況の推移と目標数との比較（R3～R5年度）

	蔵書数			目標数
	R3	R4	R5	
杉戸小学校	13,495 冊	13,801 冊	14,084 冊	10,044 冊
杉戸第三小学校	7,896	8,035	8,284	6,732
西小学校	10,574	10,589	10,588	7,164
杉戸第二小学校	6,146	6,734	7,353	8,244
泉小学校	5,436	5,602	5,967	5,436
高野台小学校	9,508	9,829	9,977	6,732
杉戸中学校	18,610	18,807	18,332	13,104
東中学校	11,135	11,261	10,782	6,048
広島中学校	9,212	9,734	10,049	9,144
計	92,012	94,392	95,416	72,648



点検評価の結果

施策：⑥自ら学べる環境の充実

「生涯学習事業の推進（生涯学習センター・図書館）」

生涯学習センターは、多目的ホール、スタジオ、集会室、創作室、オープンギャラリー、パソコン指導室などを整備し、講演会、合唱・演奏会、演劇、陶芸、作品展示など様々な利用者ニーズに対応できるため、これらの機能を十分活かします。さらに図書館を併設していることから、点字図書などを含め計画的に図書館資料を整備し、情報を収集・提供するなど、様々な学習ニーズに対応できるように努めます。

また、他の生涯学習施設との連携を図り、住民が自ら学びたいテーマを選択し、生涯にわたり学習できるよう、学習分野の拡大や情報の提供に努めるとともに、障がいのある人も利用しやすいような学習機会の提供に努めます。

令和5年度の主な取組

生涯学習センター運営管理事業

町民パソコン講座（29講座 261名）

まちづくり出前講習会「まなびっちゃすぎと塾」（14件 389名）

杉戸町県展入選等作品展 16点（県展14点、日展2点） 延べ136名

図書館運営管理事業

○サンサン・シネマ（年3回 85人）

○自然観察会&生け雑草（9名）

○おはなしボランティアによる「おはなし会」（年82回 843名）

○すぎと・泉保育園おはなし会（すぎと保育園11回、泉保育園5回）

○夕涼みおはなし会①②（46名）

○大人におくるおはなし会（20名）

○大人のためのおはなし会（44名）

○クリスマスおはなし会（29名）

○カルスタ劇場（71人）

○0.1.2歳の絵本探し（年12回）

○図書館お泊り会（町内在住5、6年生 11名）

○朝活図書館（延べ36名）

○修読旅行for図書館（町内外中高生6名）

○試験勉強がんばらNight（年3回 98名）

○ブックスタート（年12回 191名）

○夏休み宿題がんばり隊（参加者なし）

○スペシャル自習室（通年 5回）

○新一年生図書館利用カード・図書バッグプレゼント事業（305名）

○ライブラリー・スタート（年12回）

○第17回図書館まつり（1,239人）

○夏休み子ども講座「科学の本!宝石せっけんをつくってみよう」（10人）

○大人の学び講座「睡眠」と「健康」の知恵袋（12人）

施策・事業の評価

⑥自ら学べる環境の充実

「生涯学習事業の推進（生涯学習センター・図書館）」

生涯学習センターは、誰もが自分らしく生きるために知恵と力を身につけるために学習や文化活動を通して、町民の生活文化の向上と豊かな生涯学習を実現する場である。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことを踏まえ、これまで中止となっていた事業が4年ぶりに復活した。若い世代に本や読書を身近に感じてもらおう行事、町民の教養や知的好奇心を高める講座等を開催できたことについては、関係した方々に謝意を申し上げたい。

特に町民パソコン講座（R4年度132名⇒R5年度261名）まちづくり出前講習会「まなびっちゃすぎと塾」（R4年度10件 355名⇒R5年度14件 389名）と前年度と比較して参加者が増加している点については大いに評価できる。

図書館は、これまでもさまざまな事業を展開してきた。また、積極的な情報発信に努めることで「存在を高める」→「来てもら・知ってもら」→「ファンになってもら」→「図書貸し出し数が増加する・図書館がさらに進歩する」と結果としての成功が次の成功を生み出す原因となる仕組みが整ったと言える。

今後も町民の読書ニーズに応じた資料の整備やハード面の改善などを通して杉戸町の「顔・知の拠点」となることを期待したい。

点検評価の結果

施策：⑦自ら学べる環境の充実
「生涯学習事業の推進（公民館）」

社会構造の変化から、当町においても少子高齢化が進んでいるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、サークル等の活動を自粛している団体もある。

こうした中、町民の文化、芸術活動団体のメンバー構成も高齢化傾向にあるものの、生涯学習センターや各地域の公民館は、その活動拠点として欠かせない施設となっています。

また、地域における文化・芸術活動は、地域住民のコミュニティ形成に深く結びつくものと考えられますので、希薄化する社会の解消と文化・芸術の香り高いまちづくりに向け、これら活動の活性化と発展を図るための支援に努めます。

令和5年度の主な取組

○公民館運営活動事業

- ・8月 公民館自習室（17日間・西公民館） 利用者 4人
- ・9/9 第47回将棋大会 参加者 22人
- ・9/16 第45回囲碁大会 参加者 24人
- ・10/8 第33回秋季混合ダブルステニス大会 34組（68人）
- ・11/17～11/19 第40回杉戸町立公民館文化祭 参加者 3,061人
- ・11/25 杉戸町歴史散歩 参加者 4人
- ・12/9 親子料理教室 参加者 13人
- ・2/17 そば打ち体験教室 8人
- ・2/18 親子観劇 40人

○各公民館サークル団体については「杉戸町社会教育関係団体」として施設使用料の減額措置を講ずることでその活動支援に努めました。

施策・事業の評価

⑦自ら学べる環境の充実

「生涯学習事業の推進（公民館）」

第40回杉戸町立公民館文化祭（令和5年11月17日～19日）の開催に当たっては、公民館館長をはじめ、事務局、各公民館の代表、各サークルの方々のご協力があったこそである。尽力された皆様に感謝申し上げます。

文化祭の目的も、生涯学習として活動する各種団体が日頃の学習成果を発表する場から、地域のコミュニティを大事にしてサークル以外の方々や地域の人々との交流の場へと変貌しつつある。

今後は、町民や団体が主体的な運営を行い相互交流を深めながら、学びを通じた人づくり・地域づくりという公民館の原点に立ち返ることで、誰もが文化に触れ、地域に魅力を感じ、自分らしく生きがいを持ち、心の中に明日の火を灯すことが望まれる。

参考：施策指標の達成状況

※第6次杉戸町総合振興計画（前期基本計画）より

未来像3 生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち

（人）

施策名	計画目標A	現状B	B－A
社会教育施設利用者数	353,804	237,448	△116,356

※ 社会教育施設：生涯学習センター、図書館、公民館

（冊）

施策名	計画目標A	現状B	B－A
図書館資料の住民一人当たり貸出冊数	6.6	4.7	△ 1.9

※ 図書館資料の年間貸出冊数を人口で割ったもの。

点検評価の結果

施策⑧多様なスポーツ活動の普及促進

町民のスポーツ活動は、より多様化する傾向にあります。生涯にわたって誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる環境づくりが求められています。そこで、生涯スポーツの普及促進を図るために町民のスポーツに対する関心や健康づくりへの意識高揚につながるような取り組み展開に努めました。

また、町スポーツ協会をはじめとする各種スポーツ団体・クラブの育成・支援を行いました。それを通じ、地域でも活動・活躍できる指導者やボランティアの育成・確保を試行しながら、町民の自主的なスポーツ活動の促進を図りました。

令和5年度の主な取組

- ・気軽に気楽に参加できるスポーツイベントやスポーツ教室を企画し、地域住民及びスポーツ関係団体とが結びつく各種スポーツ事業の実施支援に努めました。
 - ・新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行され、様々なスポーツ活動が活気を取り戻し、町においても新春マラソン大会を4年ぶりに開催できました。
 - ・また、スポーツフェスティバルもフルスペックで開催しました。
 - ・スポーツ推進委員の指導により、町民が気楽に楽しめる新たなスポーツの普及に努めました。
- (例) ファミリーバドミントン交流大会、モルック大会 ほか

施策・事業の評価

⑧多様なスポーツ活動の普及促進

「いつでも・どこでも・いつまでも」すべての町民がスポーツに気楽に参加でき、多様なライフスタイルにあわせた活動機会の充実に取り組んでいただいている。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことを踏まえ、4年ぶりに新春マラソン大会が開催されたことは、町民のスポーツに対する興味・関心をより高める契機になるのではないだろうか。

スポーツ教室等参加者数はR4年度1,786人からR5年度2,141人と対前年度比19.9%の増である。一方、体育施設利用件数はR4年度21,898件からR5年度10,351件と半減している。

日頃運動する機会のない町民が、気軽にスポーツをはじめられる環境を提供できるよう充実を図ると共に、各種大会の周知にも努めてもらいたい。

参考：施策指標の達成状況

■スポーツ協会加盟団体数

《成果指標》	指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	スポーツ協会加盟団体数	16	16	16	16	14	13	12
	スポーツ協会登録団体数	104	103	105	102	103	105	89
	スポーツ協会登録人数	3,285	3,022	3,000	2,945	2,959	2,958	2,568

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	スポーツ協会加盟団体数	17	12	△ 5

■スポーツ少年団登録団体及び人員数・指導者数

《成果指標》	指標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	スポーツ少年団登録団体数	17	17	17	14	15	14	13
	スポーツ少年団登録人数	350	320	279	234	249	262	253
	スポーツ少年団指導者数	190	185	174	116	107	88	79

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	スポーツ少年団指導者数	200	79	△ 121

■スポーツ教室等参加者数

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	スポーツ教室等参加者数	2,244	2,141	△ 103

■体育施設利用件数

《数値目標》	施策名	計画目標A	現状B	計画B-A
	体育施設利用件数	26,702	10,351	△ 16,351

点検評価の結果

施策：⑨青少年の健全育成

各種青少年団体・グループ活動への支援を充実するとともに、活動への参加を促進します。

青少年健全育成連絡協議会で掲げる基本理念「子どもがのびのび育つまち、みんなだいじなすぎとの子」及び基本方針「家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる」を合言葉に、青少年が安全で安心して活動できる支援体制を整備し、各種の健全育成活動を推進します。

令和5年度の主な取組

・ 杉戸夏まつりの開催に伴い、青少年健全育成連絡協議会と連携し、街頭パトロールを行い、青少年の非行防止に努めました。

・ 「ネット社会で育つ子供達をまもるには」を演題に講演会を実施しました。

施策・事業の評価

⑨青少年の健全育成

R4年11月24日に実施された埼玉県ネットアドバイザー進藤律子先生による講演会「ネット社会で育つ子供達を守るためには」では、インターネットの危険性や保護者の役割などネット社会における不安に対して町民等が理解を深めた。

インターネットでの情報流出の怖さやSNSでのトラブル、また、子供が長時間使用することによる健康被害など、ネット社会で育つ子供達を守るためには、親の責任として片づけるのではなく、行政はもとより、周囲の人や学校等がそれぞれの立場で関わるのが重要である。

保護者がスマートフォン等を持たせる時の不安や負担を一人で抱え込まずに誰かに打ち明け、相談し、共有できるような「ネットワークづくり」を拡充する必要がある。

青少年健全育成連絡協議会で掲げる基本理念「子どもがのびのび育つまち、みんなだいじなすぎとの子」及び基本方針「家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる」の実現のためにも子供等の小さな変化に大人が気づける町づくりが望まれる。

点検評価の結果

施策：⑩まちの歴史・文化の保存と活用

杉戸町には、先人の残した古墳や貝塚などの貴重な史跡や遺跡が数多く存在します。しかし、押し寄せる都市化の波により、それらは失われました。今後、確かな歴史文化を後世に継承していくためには、これら文化財の適切な史跡の保存が大変重要となります。

今後も貴重な文化財の調査・研究を進めるとともに、保存・活用できる環境の整備に努めます。

令和5年度の主な取組

・国指定重要文化財1件、県指定重要文化財4件、町指定文化財25件の適切な管理を行いました。

・シラコバトの国指定保護地域及び県選定重要遺跡5件の保存に取り組みました。

・個人住宅の建築等の開発を原因とする埋蔵文化財の試掘・確認調査を宮前遺跡等で15件実施しました。

・杉戸町今昔往来伝を刊行しました。

・杉戸町文化財パンフレット（Sugito GRAPHICA vol.02）を刊行しました。

施策・事業の評価

⑩まちの歴史・文化の保存と活用

杉戸町には、先人の残した古墳や貝塚などの貴重な史跡や遺跡が数多く存在している。それを長年にわたり適切に管理・保存していることは、評価できる。

今後も我が町の宝である文化財を適切な状態で保存するための、日常的な管理や修理を望む。

「杉戸町今昔往来伝」は、2014年～2024年にかけて「広報すぎと」で連載されたコラム記事をまとめ発刊にいたったものである。杉戸宿として栄えた江戸時代の出来事や人々の暮らしなどが生き生きと取り上げられている。これまであまり知られてこなかった杉戸町の歴史や文化を再発見する機会となった。

また、文化財を保存するだけでなく「活用」することも大切な視点である。「杉戸町文化財パンフレット（Sugito GRAPHICA vol.02）」による「大塚の神楽」と「杉戸宿」の紹介も「活用」である。

伝統文化財を継承していくことの難しさや、そこに垣間見える潜在的な価値を

テーマとすることや、かつて賑わいを見せた「杉戸宿」の歴史的な魅力についても触れている。一方、本来の価値を保存・継承することを前提として地域コミュニティの核となる施設、まちづくりの拠点等、新たな意義と機能を考えた地域振興等としての「活用」も考えられる。

指定文化財

数値目標	目標A	現状B	計画AーB
	28 件	25 件	△ 3 件

《杉戸町指定文化財一覧表》

(令和6年3月31日現在)

指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
国(重要文化財)	工芸品	太刀銘「備州長船秀光応安四年十月」		昭和28・3・31
県	史跡	日光御成街道一里塚	大字下高野329	大正15・2・19
県	史跡	大島有隣遺跡	大字大島40 (恭儉舎) 大字大島174 (有隣塚)	昭和6・3・27
県	考古資料	目沼9号墳出土品一括		昭和63・2・26
県	天然記念物	中川低地の河畔砂丘群 高野砂丘	大字下野山合895番1ほか	平成29・3・23
町ー1	史跡	西行法師見返りの松碑	大字下高野376	昭和37・2・28
町ー2	天然記念物	天満宮の榎	大字下高野424	昭和37・2・28
町ー3	史跡	旧利根川堤防跡	大字下高野331-1他	昭和37・7・1
町ー4	史跡	杉山対軒遭難の碑	大字椿1814	昭和56・3・19
町ー5	考古資料	文永7年銘板石塔婆	大字堤根4254 (馬頭院境内)	平成3・6・1
町ー6	史跡	大島有隣・関口保宣・藤城吉 右衛門各氏の墓	大字下高野396 (永福寺墓地内)	平成3・6・1
町ー7	古文書	藤城家文書	さいたま市浦和区高砂4- 3-18 (埼玉県立文書館)	平成3・12・27
町ー8	史跡	目沼浅間塚古墳	大字目沼398	平成3・12・27
町ー9	無形民俗	大塚の神楽	大字大塚地内	平成4・10・27
町ー10	無形民俗	茨島の神楽・囃子	大字茨島地内	平成4・10・27
町ー11	彫刻	円空作白衣観音立像	さいたま市大宮区高鼻町 4-219(埼玉県立歴史と民 俗の博物館)	平成4・10・27
町ー12	彫刻	円空作神像		平成4・10・27

指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
町－１３	歴史資料	杉戸宿本陣宿札（関札）		平成4・10・27
町－１４	史跡	大塚の道しるべ	大字大塚343先	平成7・3・27
町－１５	古文書	小島家文書		平成9・3・17
町－１６	考古資料	目沼２号墳関連資料		平成18・10・13
町－１７	古文書	長瀬家文書		平成18・10・13
町－１８	絵画	出役図絵馬		平成19・5・2
町－１９	絵画	伊勢太々神楽図絵馬		平成19・5・2
町－２０	絵画	酒造図絵馬		平成19・5・2
町－２１	絵画	桶づくり図絵馬		平成19・5・2
町－２２	絵画	神馬奉献図絵馬		平成19・5・2
町－２３	古文書	正明寺聖教文書（一括）		平成24・2・15
町－２４	考古資料	目沼瓢箪塚古墳埴輪		平成25・8・20
町－２５	考古資料	杉内遺跡第２次調査出土板石塔婆（一式）		平成30・3・23

◇国（保護地域）及び県選定重要遺跡

指定別	種別	名称	所在地	指定年月日
国	地域を定めず指定したもの	シラコバト	越谷市とその周辺（調査により「生息地」となる）	平成元年度より
県選定重要遺跡	貝塚	木津内貝塚	大字木津内655他	昭和44・10・1
県選定重要遺跡	貝塚	神明貝塚	大字木野川91他	昭和44・10・1
県選定重要遺跡	前方後円墳	目沼浅間塚古墳	大字目沼398	昭和51・10・1
県選定重要遺跡	集落跡	山合遺跡	大字下野830	昭和51・10・1
県選定重要遺跡	古墳群	木野川古墳群	大字木野川262他	昭和51・10・1